

2010年度 酪農学園同窓会連合会事業報告

酪農学園同窓会連合会（以下本会）は、会員相互の親睦と交流を深めるために単位同窓会および支部同窓会の諸活動に積極的に協力および支援をおこなうとともに、各会員の協力のもと、母校、酪農学園（以下「学園」）の教育等諸事業および諸活動への協力および支援を積極的におこなった。

2009年度の本会会則の抜本的な改正を行った。しかし会則に定める代議員制度、地区同窓会については、各都道府県の組織再編、特に北海道は大幅な改編になるので新会則による運用は未だ完全に実施出来ない状況である。

北海道の地区割りの再編は、北海道第1地区については札幌支部が中心になって江別支部設立に鋭意活動中であり、北海道第2地区（道南）が昨年12月に設立準備会が開催された。北海道第5地区は現在支部及び地区同窓会設立準備中である。また、本州では徳島県支部が2月に会員の努力で結成された。

日本の私学は、少子化現象により、生徒学生の確保については学校間で熾烈な競争が展開されてきた。近年はこれに公立校も加わりさらに競争が激化してきた。

このような状況の中で、本会は、学園からの協力要請を受けて、学生生徒募集について「同窓生入試アドバイザー」制度を発足させ、今後、学生生徒募集活動を行うことになった。

本年度の主な活動等の状況は、次のとおりである。

1. 役員の補充改選について

大学校友会より推薦の澤田憲宏理事* から辞任の申し出があり、後任理事として大学校友会会長より推薦された、大澤宏一氏を選任した。

2. 会員について（資料1）

本年度は、大学630名、大学院40名、短期大学部29名、高校217名、合計916名の卒業生を輩出した。これにより、本会会員は53,991名（酪農義塾303名、酪農学校92,000名、合計146,294名を含む）となった。

3. 地区同窓会及び支部組織について

1) 北海道地区特別委員会決定による地区再編状況

北海道の地区割りの再編は、北海道第1地区については札幌支部が中心になって江別支部設立に向け鋭意活動中であり、北海道第2地区（道南）が昨年12月に設立準備会が開催された。北海道第5地区は現在支部及び地区同窓会設立準備中である。

2) 本州の状況

・東北地区の状況

青森県支部長、秋田県支部長、宮城県支部長、福島県支部長が仙台市に集まり東北地区同窓会設立準備会を結成した。

・近畿地区の状況

昭和 46 年に設置された近畿支部は、2 府 4 県における活動実績を踏まえ、2 府 4 県における府県支部の設立を近畿支部が全面的にバックアップし、府県支部の設立を終えた時点で現近畿支部は、近畿地区同窓会の傘下として活動することが決定されている。

・支部設置の状況

四国では徳島県支部が 2 月に会員の努力で結成された。

4. 理事会および各委員会等の開催状況について

(1) 理事会（総会）

日時 2010 年 5 月 28 日

場所 新札幌アークシティホテル

議案

1. 2009 年度事業報告および収支決算について（監査報告含む）
2. 2010 年度事業計画（案）について
3. 2010 年度収支予算（案）について
追加議案
4. 理事の補充選任について

報告事項

1. 2010 年度ホームカミングデーの開催について
2. 各支部同窓会の近況報告
3. 大学 50・短大 60 周年記念事業について
4. 第 15 回全日本ホルスタイン共進会開催に伴う懇親会について
5. 学校法人酪農学園より評議員推薦依頼について

酪農学園常任理事会と懇談会

1. 酪農学園の現況（学園改革の方向含む）

(2) 理事会

日時 2011 年 1 月 6 日

場所 酪農学園本館

議案

1. 酪農学園よりの支援要請の取り扱いについて
2. 地区同窓会の設置進捗状況について

(3) 理事会

日時 2011 年 4 月 25 日

場所 同窓生会館

議案

1. 2011 年度理事会（総会）の議案整理

5. 単位同窓会および支部同窓会等の活動状況について（資料 2）

- ・各同窓会ともに活発に会員相互の親睦交流に努めた。
- ・各会合には、本会の役員および学園の常任理事の出席を仰ぎ、最新の資料に基づく学園の近況報告をしていただいた。
- ・会合後に、「生涯教育講座」および「卒後教育講座」を開催、更には懇親交流会と会合参会者の交流を深めることができた。

6. 学園諸事業への協力および支援の状況について

(1) 酪農学園助成金について

本会の学園の諸事業および学生生徒および学生生徒募集活動への協力および支援に対して、500 万円（昨年度同額）の助成金の交付を受けた。学園の逼迫財政からの交付であることを踏まえ、本会活動のために有益に活用させてもらった。

(2) 管理業務受託について

本年度も、1991 年 3 月に廃校した酪農学校の「学籍管理および名簿管理業務」を受託し、卒業生照会および各種証明書発行等の業務を代行した。受託料 50 万円（昨年度同額）を得た。

7. 酪農学園関連団体との連携強化について（資料 3）

(1) 酪農学園後援会および酪農学園貴農同志会（職員 O B 会）の各種行事に参画するなど連携に努めた。

(2) 酪農学園後援会から各同窓会および各会合後に開催している「生涯学習講座」および「卒後教育講座」に対して、講座開設助成金として 70 万円（昨年 106.5 万円）の助成金の交付を受けた。（資料 3）

8. 会員名簿の整備（追跡調査・管理）状況について

(1) 「酪農学園同窓会連合会個人情報保護方針」（2005 年 5 月 30 日決定）に基づき、会員の個人情報（氏名・住所等）の管理および各同窓会等の依頼による情報提供をおこなった。

(2) 住所不明会員の追跡調査は、「酪農学園だより」および「学内刊行物」等、あらゆる機会をとらえて住所不明会員の減少に努めた。

(3) 本年度も大学・短期大学から「住所管理業務」を付託され、50 万円（昨年同額）の助成金の交付を受けた。

9. その他

(1) 本会の広報活動状況について

- ・「酪農学園だより」に各支部同窓会、「生涯学習講座」および「卒後教育講座」の開催状況を掲載した。
- ・本会のホームページに各同窓会活動内容および同窓会開催予告等を掲載し

た。

(2) 同窓生会館の利用状況

- ・本館の旧教室にて、環境システム学部が、当館保存の各資料を使用して、学園の歴史・建学の理念等にかかわる特別講義および演習をおこなった。
- ・学生生徒および一般市民に当館保存の資料等を一般公開している。

以上

*澤田前理事は3月25日死去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

資料

1. 学校・年度別の会員加入の状況
2. 同窓会等の開催状況
3. 酪農学園後援会の講座開設助成金の交付状況